

研究グループ紹介

「足摺縄文巨石文化研究会」

グループ名	足摺縄文巨石文化研究会
役員名	顧問 ・平野 貞夫・畑山 昌弘 会長 ・田中 千盛 副会長 ・宮崎 茂・谷 孝二郎 事務局長・富田 無事生
会員数(2004年6月現在)	25名
結成時期	1994年(平成6年) 7月20日
連絡先	〒787-0331 高知県土佐清水市越前町10番18号 富田方 足摺縄文巨石文化研究会 mail: tonita4011bt@msn.com TEL/FAX 0880-82-2021

これまでの活動状況等の紹介
させていただきます。
私たち足摺縄文巨石文化研究会
は、磐座学会と非常に縁の深いも

のをもっています。
私たちは、平野貞夫顧問・茂在
寅男名誉会員・渡辺豊和会長・鈴
木旭副会長の先生方と、イワクラ
学会設立に中心的役割を果たした
数多くの皆さんとこれまでの研究

活動を通じ、深い関わりを持って
いるということに誇りに思い、お
世話になった方々への名を辱めず
これまでの活動を糧に、イワクラ
学会の発展とともに更なる研究の
活性化を推進していく決意をして
います。

本会は、巨石文化の研究を深め
ると共に、地域文化の発展向上に
努め、地域活性化に寄与すること
を目的に「足摺縄文巨石文化研究
会」として、平成6年7月20日
に結成されました。

足摺縄文巨石群は、足摺半島先
端近くの海岸段丘の一角に位置す
る唐人駄場遺跡を中心に、高さ4
〜6メートルもある巨石の林立す
る唐人石、日本で唯一黒潮が直接
接岸する臼瀝から白星山頂・足摺
岬突端までの稜線約6キロと海岸
線の間「磐座」「磐境」が連なる
大規模なものです。

結成当初は、仕掛け人でもある

平野顧問の強力なサポートを受け、
縄文人の黒潮渡海による南米エク
アドルとの縄文交流説のアメリカ
スミソニアン博物館研究準会員ベ
ティ・メガーズ博士を招請し、
黒潮と足摺縄文巨石群とのかかわ
りについてのシンポジウム「足摺
巨石文化と縄文の国際交流」開催
をはじめ、渡辺豊和京都芸術大学
教授による現地調査・講演会の開
催、古田武彦昭和薬科大学(当時)
教授による調査への協力、国民の
祝日としてはじめて制定された海
の日記念日の1995年7月20
日には、茂在寅男東京商船大学(当
時)名誉教授の講演会「アメリカ
大陸の第一発見者は日本の縄文
人」を土佐清水市と共催、また、
三内丸山遺跡や黒又山・大湯環状
列石等調査、日本初、いや世界初
と思われるが巨石の古地磁気調査
などおこなわれました。
2000年の第1回全国イワク

